

平成31年度 第1回学校関係者評価委員会 議事録

日 時 令和2年2月27日(木) 15時30分～16時40分

場 所 長崎医療こども専門学校 3階普通教室

出席者	職名	氏名	所 属 ・ 役 職	関連学科
委員長	藤田裕紹	有限会社 藤田企画	代表取締役	柔道整復師科
委員	安元宏之	医療法人 緑風会	事務長	医療ビジネス科
委員	伊東俊祐	社会福祉法人 明星会	明星園 園長	保育こども科
委員	吉田芳男	社会福祉法人 小榊アスカ福祉会	理事長	介護福祉科
委員	吉澤秀記	FROM ながさき事業協同組合	理事長	日本語科
委員	三浦誉洋	社会福祉法人 縁和会	理事長	卒業生
以下の委員3名は委任状出席				
委員	永田真弥	永田真弥税理士事務所	所長	国際ビジネス科
委員	久保 賢	長崎県高等技術専門学校	元校長 独立行政法人 高齢・障害・求職者支援機構 長崎支部 長崎職業能力開発センター	職業能力開発
委員	岩崎誠一	長崎駅前商店街組合	理事長	地域住民
事務局	松添邦廣	長崎医療こども専門学校	校長	
事務局	一ノ瀬泰	長崎医療こども専門学校	本部長	
事務局	松尾広宣	長崎医療こども専門学校	事務局長	
事務局	中嶋真司	長崎医療こども専門学校	柔道整復師科	科長
事務局	山崎美奈子	長崎医療こども専門学校	医療ビジネス科	科長
事務局	森 俊弘	長崎医療こども専門学校	保育こども科	科長
事務局	山下 忍	長崎医療こども専門学校	介護福祉科	科長
事務局	小川美奈子	長崎医療こども専門学校	日本語科	科長
事務局	松尾健太郎	長崎医療こども専門学校	国際ビジネス科	科長

- 議 題
1. 開会：委員長挨拶
 2. 本年度の自己評価・学校関係者評価について
 3. 平成31年度 長崎医療こども専門学校 自己評価
 4. 質疑応答
 5. その他 次回の会議開催について
 6. 閉会

議事録 1. 委員長挨拶

藤田委員長が挨拶をし、議事の進行に入った。

2. 本年度の自己評価・学校関係者評価について

事務局より、資料1「長崎医療こども専門学校 平成31年度 第1回学校関係者評価委員会」を用いて、学校関係者評価委員会の目的と、本会議の開催要項について説明をした。

3. 平成31年度 長崎医療こども専門学校 自己評価

事務局より、資料2「令和元年度新入生保護者アンケート・在校生保護者アンケート」及び資料3「教職員による自己評価：平成31年度の自己評価と前年との比較」について説明をした。

(1) 令和元年度新入生保護者アンケート・在校生保護者アンケート

○新入生保護者アンケート

- ・進学の際に本校を知ったきっかけは、ご子息（学生）からが最も多いが、高校からという保護者も多く、高校の先生方が紹介していただいている人数も多いため、今後も高校と連携を深めていく。
- ・本校以外に検討した学科がある保護者の方は、教育内容を比較している方が多く、今後も教育の質を高めていく必要がある。
- ・最終的に本校に入学を決めた理由については、体験入学に参加して決めたという方が多いので、体験入学での情報の配信や保護者の方からの相談を聞くことが重要。また、立地条件、教育内容についても人数が多い。
- ・本校に期待することについては、地元就職や資格の取得など様々あり、保護者の方の期待に応える必要がある。
- ・学生を指導する際に学校側が留意した方が良いことについては、家庭環境や心に悩みを持った学生がおり、入学時に本校としても把握したいためアンケートを行った。

子供の精神的な面や持病や過去の怪我に関すること、親元を離れて学習させることの不安などを書いていただき、学生指導をする上で、有用な情報を得ることができた。

○在校生保護者アンケート

- ・本校に入学した理由に関しては、在校生についても体験入学での説明が良かったという人数が最も多かった。また、立地条件、教育内容、高校や知人からという人数も多く、教育の質を高め、

広報で情報の配信を行って行くことが重要と考えられる。

- ・本校の教育内容については様々な意見をいただき、教育を評価していただいている保護者の方だけでなく、教育内容についてご指摘をしていただいている保護者の方もおり、教育内容の改善を行う必要があることも分かった。
- ・本校の学生支援については、奨学金や特待生、学費分割制度が約半数おられたが、学生の悩みや相談を聞いてくれるという回答は約2割だったため、担任が学生の指導をもっと細かく行う必要があると捉えている。
- ・学生を指導する際に学校側が留意した方が良いことについては、子供の性格や体調面に注意していただきたいという意見や学校に対する要望も多く、ひとりひとりの学生に対し、担任が向き合って指導していくべきと捉えている。
- ・就職希望先は、長崎県内が9割で、そのうち自宅からの通勤を希望する保護者が約7割いらっしゃる。長崎県内の他の専門学校と同様に県内志向が高い。
- ・その他のご意見として、教育内容や学生支援について多くのご意見をいただいたので、教育内容の改善も含め、保護者の意見を取り入れながら学校の質を高めていきたい。

(2) 教職員による自己評価：平成31年度の自己評価と前年との比較
昨年度に引き続き、専修学校における学校評価ガイドライン(平成25年3月 文部科学省 生涯学習政策局)の評価項目に基づいて教職員による自己評価を行った。

昨年と同様に問題点として捉える基準を7割(2.8ポイント)に設定し、それを下回る評価項目に関して改善に取り組んでいく。

- ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また有効に機能しているか 2.64
- ・人事、給与に関する規程等は整備されているか 2.59
- ・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか 2.73
- ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか 2.75
- ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか 2.68

- ・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか 2. 75
- ・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか 2. 73
- ・ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか 2. 78
- ・ 卒業生への支援体制はあるか 2. 64
- ・ 関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等が行われているか 2. 45
- ・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか 2. 71
- ・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか 2. 59
- ・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか 2. 69
- ・ 財務情報公開の体制整備はできているか 2. 72
- ・ 学修成果が国内外で評価される取組を行っているか 2. 61

4. 質疑応答

藤田委員長：では、ただいま報告があった内容について、皆様方からご意見、ご質問をお願いします。

なお、委員の皆様からのご意見やご質問については、最後に一括して事務局より回答をお願いします。

安元委員：学生募集の方法はいろいろな方法で行っているという事が良くわかり、大変だなと思いました。テレビコマーシャル等で広報を行っている学校も多いですが、保護者の方は高校の先生からの紹介や教育内容の口コミで入学を決める方が多いようなので、教育内容の充実が必要だと思います。

吉田委員：広報については体験入学が重要なのですね。体験入学で学校のことをどのように伝えるかが大切な事だと思います。

三浦委員：私は卒業生ですが、私が学生の時よりも保護者の方からの要望が多くて、学生指導は大変だと思います。社会に出てから最も大切なことはコミュニケーション能力だと思いますので、在学中に指導をしていただきたいです。
また、就職先からの評価も試してみたいと思います。事業所が求める科目や技術などもカリキュラムに取り入れていけば、より実践的になると思います。

吉澤委員：保護者の方は第一的なお客様ですので、保護者の方の要

望に応えることは重要だと思います。すべてのご要望に応えるのは難しいでしょうが、ひとつひとつのご要望を解決することで、よりよい教育ができると思います。

私の事業協同組合では、外国人技能実習生を入れていますが、保護者との関係を大事にしています。技能実習生が職場で悩んでいることを保護者と話し、保護者からその情報が入ってきますので、今後も保護者との連携していただきたいです。

伊東委員 : 私の児童養護施設では、職員が保護者のように児童と接しますが、保証人やご家族の方とも連携が必要です。先ほど、三浦委員からもお話がありましたが、以前に比べて保証人やご家族の方からの要望が強くなっています。専門学校に限らず大学も同様と聞いています。学生さんの能力や技術を高め、保護者の方の要望にも応えるのは大変だと思われがちですが、保護者の方と連携して学生さんを指導すれば、良い方向に進んでいくと思います。

久保委員（委任状出席）

日々の教育（専門教育、生活指導、就職指導）において、新入生保護者及び、在校生保護者と専門学校（教職員）との連携が密に図られている。

今後とも、引き続き学生に寄り添った指導をお願いします。就職先については、学生の希望、適性等を勘案した就職指導がなされていると思われませんが、できるだけ県内就職の促進を期待します。

藤田委員長 : それでは、ただいま委員の皆さんから出していただいたご意見、ご質問について、事務局より回答をお願いします。

事務局 : ①教育力の向上が広報にもつながっていくため、今後も学校の質の向上、教育力の向上に取り組んでいく。

②保護者との連携を、より深めていくとともに、保護者も含め、第三者の方にも本校の教育内容等が分かりやすくするよう情報を配信し、学校の透明性を図る。

5. その他 次回の会議開催について

藤田委員長 : それでは、次回の会議の開催について、事務局より説明を

お願いします。

事務局 : 次回の会議 : 3月24日(火) 14時25分～16時55分

藤田委員長 : 委員の皆さんは、この日程でよろしいでしょうか。

→異議なし。

6. 閉会

藤田委員長 : 次回の会議では、事務局から本年度の自己評価の全体の報告があります。学校の先生方は大変ですが、どうぞよろしくお願いします。

それでは以上をもちまして、平成31年度 長崎医療こども専門学校 第1回学校関係者評価委員会を終了します。委員の皆さま、本日は長時間に亘り、ご協力いただきまして、ありがとうございました。

以 上